

政治姿勢



後藤 章子

質問

住民が主人公の開かれた市政を。

答弁 市長

「住民が主人公の開かれた市政」は、私の選挙公約でもあり、基本的な政治信条であります。住民に厳しく、身内にはお手盛りの行政ではないかと、ご指摘を受けることのないよう、執行部をはじめ職員一同、気持ちを引き締めて誠心誠意取り組んで行きます。

質問

支所機能の充実・強化について。

答弁 総務部長

今後の地域審議会や行革審議会の意見を踏まえて総合計画の中で検討していきたい。



改良が待たれる県道緒方・朝地線の  
小野トンネル付近

質問

朝地・緒方間の早期整備と住民の交通手段の確保を。

答弁 建設部長

本路線の未改良区間は高規格道路との関連があり、県の方も状況を見極めながらとなっているが、合併によつて地域間格差が生じないように整備に努めていきたい。

交通弱者の生活の足としての交通手段の確保は喫緊の課題であり、コミュニティバスの運行形態を含み運行全般にわたり抜本的な見直しを検討していきたい。

質問

国保被保険者の低所得者救済対策を。

答弁 市長

低所得者の一部負担金の減額免除は、内容などを調査検討したい。災害その他の特別な事情がある場合には、条例により保険税を減免することがあります。

※その他

「福祉制度の復活」



羽田野 昭三

老人保健施設の設置を

質問

旧大野郡に認可された老人保健施設の設置に対するこれまでの経過と今後の対応は。

答弁 保健福祉部長

大野圏域では整備目標298床のうち現在248床が整備され、50床が未整備



充実が待たれる「老健施設」

質問

老人保健施設の設置の今後の対応について。

答弁 保健福祉部長

平成16年度末に旧野津町から要望はなく、本市において調整を進めながら早期に結論を出していきたい。

農林業振興の施策は

質問

高齢化・後継者不足の農林業振興にどう取り組んでいくのか。

答弁 市長

産業振興の施策として、集落営農の組織化、法人化、企業的農業者の育成、農業公社も担い手として、活動エリアの拡大や、効率的運営に取り組みます。「安全・安心な食の提供」を行うとともに県、農協生産組織と連携し、消費者ニーズやマーケティングを考慮し、生産から販売まで一貫した産地をつくらします。

※その他

「各種イベント」

